



ミス日本ニュース1月号

ミス日本コンテスト事務局 毎月1回配信
03-5323-0781 missnippon@wadaken.net



Japan.
Committed
to SDGs

★2019ミス日本 受賞おめでとう!★



準ミス日本
西尾菜々美



ミス日本みどりの女神
藤本麗華



ミス日本グランプリ
ミス日本ミススポーツ
度會亜衣子



ミス日本「水の天使」
ミス日本ミス着物
谷桃子



ミス日本「海の日」
高橋梨子

第51回ミス日本コンテスト2019にて、本年は5名の受賞者と、特別賞1名が発表されました！受賞おめでとうございます！





和田静郎特別顕彰ミス日本
南谷真鈴

世界最年少で探検家グランドスラム
(七大陸最高峰・南北極点到達)を達成。



前夜祭激励会には歴代OGが数多く駆けつけてくれました。2018ミス日本の皆さんも任期満了、お疲れ様でした！



1/22 受賞翌日にフジテレビとくダネ！に生出演する度會。特技のフランス語で挨拶を披露しました。



1/27 TBSサンデー・ジャポンに生出演した高橋。1週間のニュースに意見を求められました。



1/26 ドキュメンタリー映画「夢こそはあなたの生きる未来」舞台挨拶にOG飯塚帆南と、新水の天使谷桃子。

★1月の活動★



1/26 地元名古屋のCBCテレビに生出演。地元の祝福ムードに笑顔がたくさんこぼれました。



↑週刊新潮 ↑週刊文春



1/29 モクコレのOP式典でウッドカットに挑む藤本。林野庁長官と共に、木のある暮らしの展示を視察。



1/29 高知大学での下水道シンポジウムの司会を務めた谷。視察会ではポンプ場や水再生センターを見学し、きれいな水が届けられるプロセスを学習。

- 1日 2019JALパック初日の出・初富士フライト /市橋,岡部
- 7日 名古屋木材組合 平成31年新年名刺交換会 /竹川
- 8日 日本下水道施設業協会 賀詞交換会 司会/浦底
- 11日 間伐・間伐材利用コンクール表彰式/竹川
- 12,13日 ミス日本ファイナリスト勉強会第4期
- 16日 インターエデュ 取材公開/ファイナリスト高橋梨子
- 18日 スポーツニッポン新聞 ミス日本コンテスト特集記事掲載
高杉商事株式会社「2019年キックオフ会」ゲスト/浦底
- 19日 ジャパンフィッシングショー2019 出演/山田
- 20日 第51回ミス日本コンテスト2019前夜祭激励会
- 21日 第51回ミス日本コンテスト2019**
同日中にYahoo,MSN,LINEなどニュースサイトに報道多数
- 22日 スポーツニッポン新聞&WEB「Annex」結果掲載
フジテレビ とくダネ！ 生出演/度會
フジテレビ めざましテレビ, ノンストップ！
プライムニュースイブニング
日本テレビ スッキリ, news every, ZIP
TBSテレビ「はやドキ！」「ビビット」
各種新聞やWEBサイトなど情報掲載
- 25日 2019クボタグループ賀詞交歓会 /浦底
- 26日 **CBCテレビ「花咲かタイムズ」生出演/度會**
みなかみスノーシューフェスティバル/浦底
ミス日本50周年ドキュメンタリー映画
「夢こそはあなたの生きる未来」
アクトス調布舞台挨拶/谷、16飯塚
- 27日 **TBSテレビ「サンデー・ジャポン！」生出演/高橋**
- 29日 モクコレ2019 Woodコレクション 開会式/藤本
- 29-30日 高知から発信する下水道の未来
第2回シンポジウム 司会/谷
- 30日 川崎市 入江崎水処理センター西系再構築完成式典/18浦底
- 週刊文春 1月31日号 GP度會受賞グラビア1p
- 週刊新潮 1月31日号 GP度會受賞グラビア1p



1/1 毎年恒例JALパック初日の出・初富士フライトに、ミス日本グランプリ市橋とミス着物岡部が案内役。一年の幕開けを華やかに演出！



1/8 日本下水道施設業協会の賀詞交歓会



1/18 高杉商事2019キックオフ会



1/19 ジャパンフィッシングショーにて海技免許の更新をよびかけ！



1/7 名古屋木材組合の名刺交換会では緑の募金を呼びかけ



1/25 2019クボタグループ賀詞交歓会



1/26 みなかみスノーシューフェスティバル！今年のポスターキャラクターの浦底と一緒に雪山へ。ちょっと吹雪ましたが、チームみんなで楽しみました。



1/11 間伐・間伐材コンクールでは新設された「みどりの女神賞」を表彰。間伐材の活用アイデアが広がっています。



第4期勉強会1月13日
アーモンドミルク味噌仕込
リバースプロジェクトの新納平太先生による、和食の伝統味噌仕込み体験。昨年のファイナリストが仕込んだ味噌を受け継ぎ、来年に残します。



第4期勉強会1月12日 命を救う市民のAED
日本AED常務理事の早坂よしひろ先生と、事務局長の武田聡先生によるAEDの講義。一刻を争う命の危険に、為すべきことがなにかを学びます。AEDは誰にでも出来るよう工夫されていますので、すぐに持って駆けつけことがなにより大切です。



第4期勉強会1月12日 世界で活躍する振り付け師TAKAHIRO先生によるダンスの講義。体を動かして楽しい雰囲気を作っていきます。質問タイムには、仕事への姿勢や周囲との向き合う姿勢などをお話。世界で活躍する先生の姿を目に焼き付けました。



第4期勉強会1月13日 現代アートの世界
森美術館館長 南條史生先生による、現代アートの解説。この日の展示テーマは「カストロフと美術の力」南條先生の解説により作者の背景を知ること、作品に込められた思いに触れていきます。



OGの履歴書 第9回 新井寿枝 さん

スリーハーツ財団代表。2011年度ミス日本ミス着物。大阪府出身。受賞時は、日本文化を海外に普及する絵手紙アーティストとして活躍。受賞後、カンボジアのテニス連盟の親善大使に就任、ミス日本ボランティア協会を設立後、カンボジアでスリーハーツ財団を設立。



---応募動機を教えてください

コンテストに応募したのは、25歳になる年でした。22歳の頃から海外で活動をはじめ、仕事で出会った元ミスタイランドの方のチャリティ活動に影響を受け、母国で最も伝統的な美の象徴であるミス日本を志すようになりました。ファイナリストに選ばれてお勉強会に参加し始めた頃、母が6年間の闘病生活の末に他界し、一時は出場辞退も考えましたが、和田優子大会委員長に励まして頂き、又応援してくれていた母を思い出場を決意しました。今となっては、この時諦めずに挑戦して本当に良かったと思っています。



カンボジアの子供達に
絵手紙のレクチャー



タイ王国副首相を表敬
財団からの寄付を手渡す

---受賞後の活動は？

受賞して2ヶ月も経たない頃に東日本大震災があり、活動の多くが中止になりました。その年はボランティア活動が中心となり、ミス日本としても個人としても何ができるのか、社会貢献について考えさせられた年でした。この頃の経験が後のカンボジアでの活動に繋がったと思っています。

現役を終えてからは、ミス日本ボランティア協会を立ち上げて、1年間初代代表として様々な活動を行いました。次の代表で同期の谷中麻里衣さんにバトンを繋いでからは、カンボジアでスリーハーツ財団を設立し、孤児の子供達への教育支援に従事しています。ミス日本協会にも多数ご後援いただき、日本からミス日本の後輩の方々が応援に来てくださるなど、有意義な事業を継続することができています。

海外で常にMiss Japanとして見られる環境では、期待やプレッシャーに押し潰されそうなこともありましたが、ミス日本を通して育んだ精神と、私が受賞した時のテーマ「一所懸命なこころ美人」を掲げて歩んできました。一昨年、安倍晋三内閣総理大臣から、カンボジアのフン・セン首相をもてなす迎賓館での晩餐会にお招きいただき、日本とカンボジアを繋ぐリーダーとして労いのお言葉を頂いたことは、私の活動のみならず、それらの精神が広く認められたように感じ、生涯忘れられない出来事となりました。



カンボジアの
伝統衣装を着て
両国の首脳陣と
益々の友好発展を
祈りました。



シンガポールでは、野球教室を開催。元プロ野球選手の父と、元メジャーリーガーの野茂英雄さんに指導していただきました。



世界遺産アンコールワットで大規模なお掃除イベントを実施！
妹の新井貴子(12'GP)、芳賀千里さん(15'GP)、飯塚帆南さん(16'みどり)が参加。



カンボジアの未来の歯科医師が孤児に歯磨きを教えるアハハプロジェクト。
青空の下で虫歯治療も！初回は古賀ゆかりさん(13'着物)と新井貴子が参加。



タイで行なった環境保護啓発イベントでは、ゴミで作ったドレスを着た
ミス日本とミスタイランドが美の共演！
鈴木恵梨佳さん(13'GP)、花岡麻里名さん(14'海)、杉浦琴乃さん(16'海)らが参加。
ダンサーの花岡さんのパフォーマンスは圧巻でした！



当事のバンコク都知事と
倭早希さん(15'着物)と記者会見。
ミス日本協会の和田あいさんと共同
で、啓発エクササイズ「ビューティ
サイズ」を製作、国土交通省からも
お墨付きをいただき、カンボジア、
タイの子供達と実施しました！

スリーハーツの活動は、ミス日本の皆様に支えられて
きました！心より御礼申し上げます。

---今後の展望について

昨年、約10年ぶりに日本に拠点を戻しました。今後は日本での活動も視野に入れています。また、チャリティに必要なスキルを体系的に学び、正式なファンドレイザーの資格を取得しました。これまでの海外での経験を活かして、日本社会に貢献できるような活動を志しています。そして行く行くは、自分を育ててくださったミス日本、協会の皆様、お世話になった方々に恩返しをしていきたいです。